

# 情報セキュリティ

情報科学の世界II

2016年度

只木 進一（工学系研究科）

# セキュリティは他人事ではない

- ▶ 個人情報の漏えい
  - ▶ 民間企業の顧客情報の漏えい
  - ▶ 公的機関からの個人情報漏えい
  - ▶ 特定個人情報：マイナンバー
- ▶ 信用してアクセスしたサービス
  - ▶ 乗っ取られていて、不正プログラムを押し込まれる

# セキュリティは他人事ではない

- ▶ 個人のPCやスマートフォンからの情報漏えい
  - ▶ 自分の情報だけでなく、他人の情報
- ▶ 様々なサービスのID
  - ▶ 乗っ取り、なりすまし
- ▶ 自分のデバイスが、攻撃の足場に使われる

# 情報セキュリティの構成要素

- ▶ 機密性： confidentiality
  - ▶ 秘密であること
  - ▶ 制限された人だけが利用できる
- ▶ 完全性： integrity
  - ▶ 正式で正しいものであること
- ▶ 可用性： availability
  - ▶ 必要なときに利用できること

- ▶ 三つの要素のバランスが重要
  - ▶ 情報システムとしてのバランス
    - ▶ システムの目的に合致しているか
  - ▶ 情報システムの運用の観点
    - ▶ システムとして運用できるのか
  - ▶ 費用と効用の評価
- ▶ 情報システムは手段に過ぎない

# 情報セキュリティの対策

- ▶ 問題が発生しないための対策
  - ▶ 不正通信が起こらないように
  - ▶ ウィルスが入り込まないように
  - ▶ 不正侵入が起こらないように
- ▶ 問題の発生を想定した対策
  - ▶ 不正通信の確認と遮断の方法
  - ▶ 重要情報の暗号化
  - ▶ 重要情報の分散

- ▶ 問題が発生した後の対策
  - ▶ 緊急退避
  - ▶ 連絡・通報・責任体制
  - ▶ 影響範囲の迅速な確認方法
  - ▶ 適切な公表
- ▶ 問題の再発を防ぐ対策
  - ▶ 原因の究明と対策
  - ▶ リスクとコストの再評価

# 技術的対策

## ▶ 通信路の対策

### ▶ ネットワークの分離

- ▶ 重要情報を持つネットワークを切り離す

### ▶ Firewall

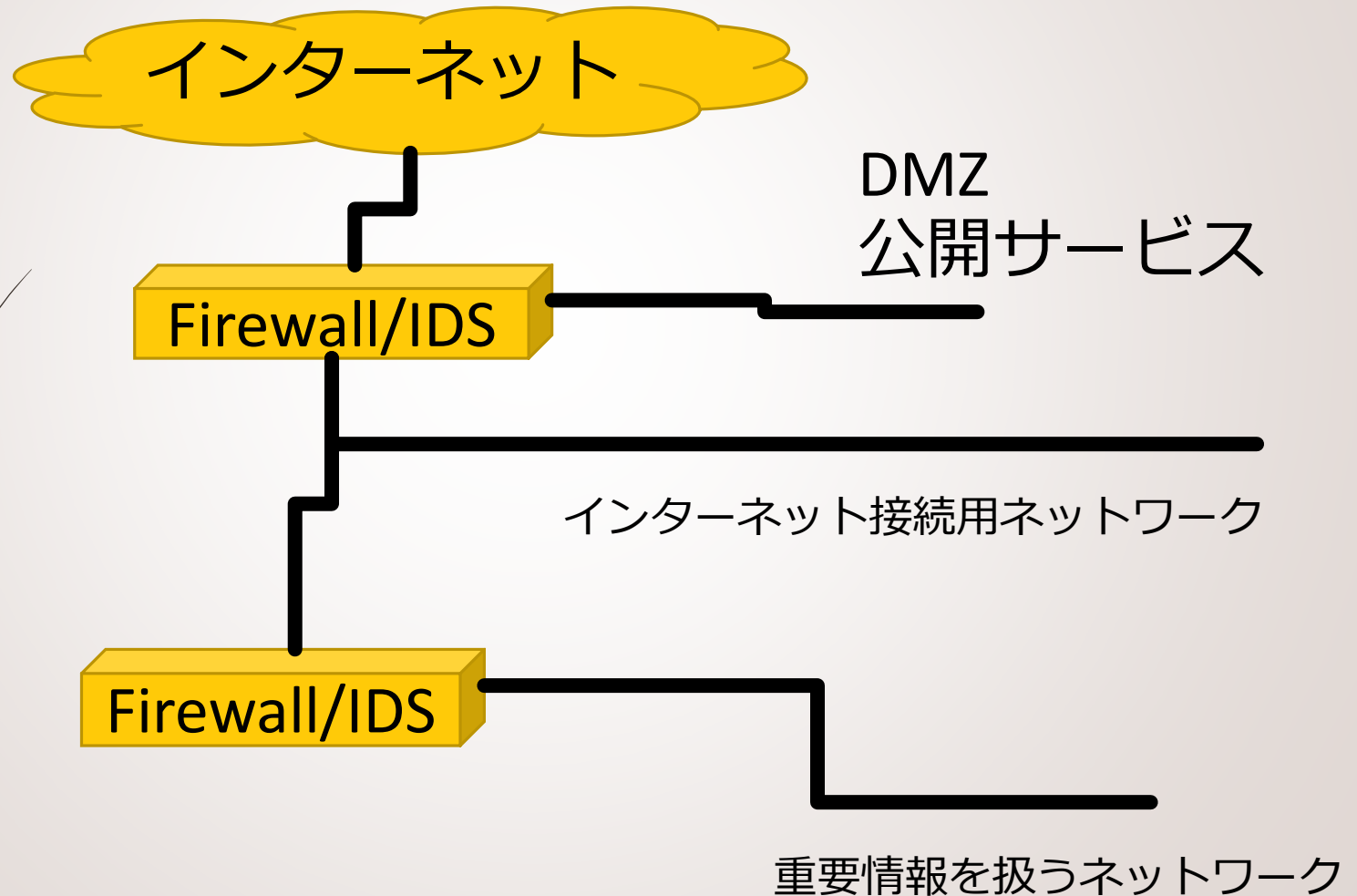
- ▶ 送受信元、サービスで通信を制限

### ▶ IDP(Intrusion Detection System)

- ▶ 侵入の兆候を検知して遮断



# ネットワークの構成例



- ▶ ウィルス対策：通信路
  - ▶ ウィルス付メールの遮断
  - ▶ 不正なWebサイトへ誘導するメール遮断
  - ▶ 不正な活動の検知と遮断
- ▶ ウィルス対策：クライアント
  - ▶ ファイルのフィルタリング
  - ▶ 不正な活動の検知と遮断

- ▶ 本人確認：不正利用防止
  - ▶ ユーザー名とパスワードによる認証
  - ▶ 多要素認証
    - ▶ 持っているもの：ICカードなど
    - ▶ 持っているものに一時的なパスワードを送信
  - ▶ 生体認証
    - ▶ 指紋、虹彩、静脈
  - ▶ 証跡管理

# 暗号化

- ▶ 情報を暗号化する
  - ▶ 暗号化には、その方法とともに鍵が必要
- ▶ 例：Caesarの暗号
  - ▶ アルファベットの先頭から鍵の文字列に置き換える
  - ▶ 残りは、鍵の終端の後ろに残ったアルファベットを順番に対応させる

- 鍵 : JULISCAER
- a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- J u l i s c a e r t v w x y z b d f g h k m n o p q

- ▶ 符号化 : Encode, Encipher
  - ▶ 元のテキストを暗号テキスト(cipher text)にする
- ▶ 復号化 : Decode, Decipher
  - ▶ 暗号テキストを元のテキストに戻す

- ▶ 鍵を送信者と受信者が共有する方法
  - ▶ 共通鍵方式
    - ▶ 符号化と復号化で同じ鍵
    - ▶ どうやって鍵を送る？
- ▶ 送信用鍵と受信用鍵が異なる
  - ▶ 公開鍵方式
    - ▶ 符号化と復号化が異なる鍵

# 公開鍵暗号方式

- ➡ 受信者から送信者へ、符号化用鍵の送信
- ➡ 送信者は送信内容を符号化用鍵で暗号化し、送信
- ➡ 受信者は、自分だけが持つ複合化用鍵で暗号テキストを復号



# SSL (Secure Socket Layer)

- ▶ Web 通信で用いる暗号化方式
- ▶ Webの信頼性を示す証明書
- ▶ 重要情報を送る場合には、確認必須

- ▶ クライアントがサーバへ通信要求
- ▶ サーバが証明書と公開鍵を送信
- ▶ クライアントは、共通鍵を生成してサーバから受信した鍵で符号化して送信
- ▶ サーバは共通鍵を受信して復号
- ▶ 双方が共有した鍵で、暗号通信

# 復号できない暗号

## ▶ パスワード

- ▶ 符号化できるが、復号できない

## ▶ 攻撃手法

- ▶ ユーザ名、名前、生年月日などをヒントに

- ▶ 総当たり

# 個人としての安全対策： Webの利用

- ▶ 重要情報をできるだけ送らない
  - ▶ 正しいサイトであることの確認：証明書
  - ▶ 暗号化
  - ▶ 本当に必要なのか
- ▶ 不正サイトからの攻撃を防ぐ
  - ▶ 不要なサイトへアクセスしない

# 個人としての安全対策： ウィルス対策

- ▶ ウィルス対策ソフトの導入
  - ▶ ウィルスパターンの更新
  - ▶ 定期的な全体スキャン
- ▶ 知らない人からのメールの添付ファイルを開かない
  - ▶ 「緊急」メールに注意
  - ▶ 他の手段で確認する

# 個人としての安全対策： ID管理

- ▶ パスワードの管理
  - ▶ 重要なサービスのパスワードを他のサービスと共有しない
  - ▶ 他人に教えない
  - ▶ 危ないと思ったら変更する

# 個人としての安全対策： データを失わない

- ▶ バックアップをする
  - ▶ CDやBD
  - ▶ USB接続のポータブルHD
  - ▶ クラウドストレージ